

特別展「倉敷動物妖怪展 at 自然史博物館」の開催について

1 会 期

令和4年7月16日（土）～9月25日（日）

2 開催場所

倉敷市立自然史博物館

3 観 覧 料

通常料金（一般150円、大学生50円、高校生以下・65才以上無料）

4 主 催

倉敷市立自然史博物館・里庄町立図書館

5 共 催




倉敷市立自然史博物館友の会・佐藤清明資料保存会

6 事業目的

岡山県を中心とする地域の動物にまつわる妖怪を紹介し、自然史科学の側面からの解説も加え、高梁川流域連携中枢都市圏事業に位置付けて市民のみならず高梁川流域の幅広い世代の方々の民俗ならびに自然への興味・関心を高める。

7 展示の内容

猫・雷獣・狸・狐・狼・ハンザキ・件・鬼・河童・天狗・スイトン・サガリ・スネコスリ・人魚などの妖怪を展示する。自然史科学の側面からは日本のイエネコの起源、岡山にもいたニホンオオカミ、地球史上最大の動物、天狗の翼で空を飛べるか、江戸時代の岡山の哺乳類などを解説する。円珠院（浅口市）所蔵の「人魚のミイラ」、池田宗政筆の「天狗図」なども展示する。

		
<p>池田宗政筆天狗図（岡山後樂園）</p>	<p>河童（香川大学）</p>	<p>人魚（香川大学）</p>

8 関連イベント

当館では博物学者荒俣宏氏の講演会（8月6日（土））、展示解説会（7月17日（日）・9月11日（日））、里庄町立図書館司書によるおはなし会（8月20日（土））などを開催する。

里庄町立図書館では妖怪本の紹介（会期中）、おはなし会（8月27日（土））、特別展の巡回展（10月19日（水）～30日（日））などを開催する。

9 周知方法

広報くらしき、当館ホームページ、チラシ（主に倉敷市および高梁川流域圏域の他市町の小学生に配布）、SNS、パワフルキッズ、懸垂幕など

10 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

- (1) 入館時の体温チェック
- (2) 健康チェックシートへの記入
- (3) 入館者数を100人程度に制限
- (4) 展示会場の定期的な消毒 ほか